

Older Americans

PRESENTED BY AMERICA'S PHARMACEUTICAL COMPANIES

800 種以上の高齢者用薬剤が開発中

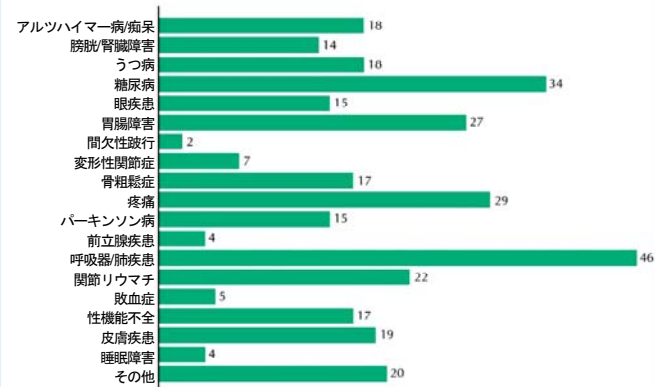
米 国では 65 歳以上の高齢者数が急増しているが、これとともに、製薬会社やバイオ企業では高齢者がより長くより豊かな生活を送れるように取り組んでいる。今回行った調査によると、加齢による疾病に対して 800 種以上の薬剤が開発中であることが判った。心臓病および脳卒中の薬剤 123 種、抗癌剤 395 種、そしてアルツハイマー病、糖尿病、骨粗鬆症など消耗性疾患の薬剤は 309 種が開発中である。循環器疾患や癌を対象とする開発パイプライン上にある薬剤についての詳細は、www.phrma.org を参照されたい。また、加齢による疾病に対して開発中の薬剤には以下のようなものがある。

- アルツハイマー病治療薬 18 種。治療法ないし予防法が発見されない限り、患者数は今世紀半ばにまでに 1,400 万人に達するものと見られる。
- 抗うつ剤 18 種。65 歳以上の米国人では 700 万人、もしくは高齢者の 5 人に 1 人がうつ病に罹患していると思われる。
- 糖尿病治療薬 34 種。これによる直接的医療費、生産性の喪失や障害のために、年間およそ 1,320 億ドルが失われている。
- 骨粗鬆症治療薬 17 種。50 歳以上の米国人、4,400 万人の脅威となっている。
- パーキンソン病治療薬 15 種。毎年、新たに 60,000 人がパーキンソン病と診断される。

この他にも、膀胱や腎臓の疾病、眼疾患、胃腸障害、変形性関節症、疼痛、前立腺疾患、呼吸器および肺の疾患、関節リウマチ、性機能障害、皮膚疾患やその他の加齢による症状を対象にした薬剤が開発されており、すべてヒトを対象とした臨床試験もしくは米食品医薬品局（FDA）の承認待ちの段階にある。新しく開発される薬剤の多くは最新の知識や先端技術を駆使し様々な手段で疾病に立ち向かっている。例えば以下のようなものがある。

- 黄斑変性症は、65 歳を超した米国人の失明原因の一位に挙げられているが、この疾患の形態の一つである血管新生を阻害するという可能性を秘めた薬剤。

開発中の高齢者向け薬剤*



* 2 つ以上の分野に分類されている薬剤もある。

- 関節リウマチの炎症を引き起こすたんぱく質を抑える薬剤。
- 血小板の形成を阻害し、神経伝達物質アセチルコリンの悪化を防ぐアルツハイマー病治療薬。

過去数十年で平均寿命は顕著に延長されたが、現在開発されている薬剤は、この平均寿命を維持し、さらに延長させるために希望の光を投げかけている。

コロンビア大学の経済学者、フランク・リヒテンバーグ氏がに行った調査によると、1986 年から 2000 年にかけて見られた平均寿命の延長のうち新薬は延長要因の 40%に相当するといふ。製薬業界による新薬開発の取組みは、高齢者が現在ある薬剤を入手する道を開くよう高齢者医療保障制度(メディケア)の整備を進める必要性を訴え、各社に明日の薬剤を発見・開発する誘因を与えている。

Alan F. Hoerner

PhRMA 理事長
アラン F. ホーマー